

SMOD に関する Q&A

Q: SMOD にはどのような技術が利用されていますか。

A: SMOD は 600nm の光学密度(OD)をベンチトップ式光度計と全く同じように測定しています。お客様にはお馴染みの技術ですが、それをシンプルかつスマートに応用したものです。SMOD はフラスコ内の温度も測定します。

Q: SMOD の素材は何ですか。

A: シェルは表面が滑らかなポリプロピレン製、中管はガラス製です。

Q: SMOD は何回使うことができますか。

A: 35 回の培養実験でモニタリングを行うことができます。ソフトウェアで交換時期を知ることができます。

Q: 使い始めるときに、行うことはありますか。

A: 初めて SMOD を購入したら、LIFEONICS のウェブサイトから SMOD ソフトウェア v1.0 をラボのコンピューターにダウンロード、インストールします。この操作は一度行うだけです。スタートガイドに従って、最初の SMOD を使用することができます。

Q: どのように SMOD はコントロールされますか。

A: SMOD ソフトウェアで表示されるユーザーインターフェースの操作は、直感的に行うことができます。SMOD デバイスがソフトウェアに認知されたら、認知された SMOD の中の LED が光ります。その後に、測定する頻度をプログラムすることができます。また、複数個の SMOD を同時に駆動させ、コントロールすることが可能です。

Q: SMOD のデータはどうやって転送されますか。

A: 温度と OD の測定値は Bluetooth™ でラボにあるコンピューターへ転送されます。データセキュリティポリシーをご了解いただいた上で、測定されたデータはローカルネットワークまたはインターネット経由でモバイルデバイスに転送できます。データは CSV フォーマットにエクスポートが可能で、それを解析に使用することができます。

Q: フラスコをインキュベーターに入れた後で、何かやらなければならないことはありますか。

A: いいえ、何もありません。SMOD は完全に自立作動します。SMOD が培養液と同じ温度になった後に培養液に植菌をすれば、フラスコを密閉して培養停止まで手を触れる必要はありません。

Q: 次の使用に備え、SMOD の滅菌方法を教えてください。

A: SMOD と一緒に化学滅菌プロトコールを提供しています。フラスコ培地から取り出したらすぐにプロトコールに沿って滅菌し、終了後 SMOD を充電用ベースに置いておくことをお勧めいたします。充電中は付属のカバーでデバイスを覆って待機させてください。

Q: フラスコ中で SMOD を何時間使えますか。

A: フル充電後に何時間使えるかは、モニタリングの頻度によって決まります。測定中のモニタリングの頻度はお客様がソフトウェア上で設定します。使用開始時にフル充電されていたとして、培養中高頻度に測定をした場合の使用可能時間はおよそ 10–12 時間程度です。測定頻度を少なくすれば、15 時間くらいまで伸ばすことが可能です。

Q: SMOD の充電にはどれくらいの時間がかかりますか。

A: デバイスがソフトウェアに接続されているときは 2 時間程度、接続されていない場合は 4 時間程度です。

Q: SMOD を 35 回使用した後はどうなりますか。

A: SMOD を 35 回使用した後は交換が必要です。デバイスはもう使用できないということを知らせるメッセージが出ます。これはこのデバイス消耗品のデータの品質と安定性を確実にするためのものです。

Q: SMOD はリサイクル可能ですか。

A: 使用後、お客様には完全に化学滅菌したということを保証していただいた上で、LIFEM に返送していただくことをお願いしています。デバイスは LIFEONICS でリサイクルできる部品はリサイクルし、リサイクルできない部品は安全に処分します。

Q: SMOD はどこから購入できますか。

A: 株式会社ライフエム(K.K. LIFEM)は、日本における唯一の SMOD の輸入販売特約店です。SMOD は、”www.lifem.co.jp”または”YAHOO! ショッピング”からご購入いただけます。代金決済はクレジットカードまたは銀行振り込みによる前払いのみとなります。